

## ようこそ都留へ！ 都留文科大学入学式



■学部生など826名、大学院生18名が入学しました。なお、開式に先立ち、東日本大震災により被災し、亡くなった方々のご冥福を祈り、1分間の黙祷が捧げられました。

4月5日、都の杜うぐいすホールにおいて都留文科大学の入学式が執り行われ、多くの新入生が都留市での新しい生活をスタートさせました。

新入生代表の言葉として、文学部渡邊美香さんが「学ぶことのできる幸せを噛み締め、都留文科大学の学生としての自覚と誇りを持って、新たな一歩を踏み出したいと思いません。」と力強く話されました。

## お茶壺道中採茶使任命式が行われました！

■任命式後は和やかな会談が行われました。是非みなさん10月の行列を楽しみにしてください。



4月13日、市長公室において、採茶使任命式が行われました。

今年度の採茶使には鹿留在住の三枝秀雄さんが選ばれ、勝山城城主とみたてた都留市長から任命を行いました。

「お茶壺道中」は都留の歴史を復活させた由緒正しい行事です。三枝さんには「お茶壺道中ツアー」の団長を務めていただき、10月の「お茶壺道中行列」に出演し、主役を担っていただきます。



## ミュージアム都留に絵図が寄贈されました！



4月15日、市内在住の長田和訓氏より、絵図「日本海山潮陸図」にほんかいさんちようりくず」が都留市に寄贈されました。

同絵図の作者石川流宣は元禄期頃に活躍した浮世絵師で、流宣作成の日本図は「流宣図」と呼ばれ、華麗な筆彩に豊富な記載内容となっております。絵図には、谷村藩主秋元氏の記載もあり、城下町であった頃の谷村が描かれた貴重な資料となっております。

寄贈者の長田家は、江戸時代より続く旧家であり、絵図は古文書などとともに同家に伝えられてきたものです。貴重な資料を寄贈していただきありがとうございます。

## 都留市の人口

H23.4.1現在  
男 15,598人 (-64)  
女 16,196人 (-131)  
計 31,794人 (-195)  
世帯数 11,812世帯 (-129)

## 5月の納税

固定資産税  
(第1期・全期前納)  
納税には安全で  
便利な口座振替を  
ご利用ください。

## 都留市民憲章

わたくしたち都留市民は

- 健康で明るいまちにいたします。
- 自然を愛し、美しいまちをつくれます。
- 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- たのしく働き、活気ある産業のまちに育てます。
- たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくれます。



市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



## 新入学児童に黄色い帽子が贈呈されました！



3月25日、市長公室において、黄色い帽子(交通安全帽子)の贈呈式が行われました。

黄色い帽子はすべての児童を交通事故から守り、立派に成長させたいと思う心が形となったもので、毎年バザーや、募金を行い、寄せられた浄財を帽子の購入資金としています。

33回目を迎える今年度も山梨県黄色い帽子を贈る会より、市内の新入学児童に向けて黄色い帽子が贈られ、児童の健康と成長を願う心とともに市長に手渡されました。

皆さんも、日頃から「交通安全」の意識を持ちながら、交通ルールと交通マナーを守って、安全な運転に心がけましょう！

## 都留バイパス・県道バイパス(法能～古川渡間)が開通しました！

■広く、見晴らしが良く通るやすい道路です。みなさんスピードの出し過ぎには注意しましょう!!



3月27日、国道139号「都留バイパス」と「県道バイパス」の法能～古川渡間が完成し、開通しました。

この道は、平成5年までに開通した上谷～法能間と合わせ、開通区間は計5.8キロになりました。

開通により、大月、富士吉田両方面へのアクセスが向上し、渋滞緩和や歩行者の安全面の向上が期待が高まります。

## 「宝の山を遊びまわる」が開催されました！



■階段の無い急な山道を自分の力だけで登っていくこともたち。ゲーム機では味わえない経験を楽しんでいました。

4月1、3、5、6、10日に、宝の山ふれあいの里において、「宝の山を遊びまわる」が開催されました。自然の中で自分のやりたいことをやってみようという趣旨のもと、子ども達も裸足での鬼ごっこ、山登りなどを夢中になって楽しんでいました。市内だけでなく、大月からの参加者もあり、子どもたちにとって良い交流にもなりました。